NEC InterSec / NQ30c

スタートアップガイド

2011年 9月 2版

856-129514-001- B

> この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

使用上のご注意

本装置を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は大切に保管してください。

InterSec/NQ30c(検知アプライアンス)を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元において置くようにしてください。本装置をご使用になる前に必ずお読みください。

安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	人が死亡する、または重症を負うおそれがあることを示します。
注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損傷を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	種類	説明	例
△	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
⦸	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中や近くの絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：電源プラグを抜け

(本書での表示例)

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

指定以外のコンセントに差し込まない
電源は指定された電圧で、指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

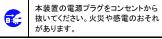
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

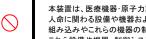
	感電のおそれがあることを示します。		高温による傷害を負うおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触れないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火を近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な指示を示します。

安全上のご注意

全体的な注意事項

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない
本装置は、医療機器･原子力設備や機器･航空宇宙機器･輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

分解・修理・改造はしない
絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない
万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

日本国外で使用しない
本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。

装置内に水や異物を入れない
本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告

ぬれた手で電源プラグを持たない
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

注意

指定以外のコンセントに差し込まない
電源は指定された電圧で、指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない
コンセントに定格以上の電流が流れることによって、加熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源ケーブル部分を持って引き抜かない
ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

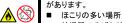
中途半端に差し込まない
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となる恐れがあります。

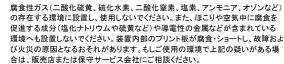
指定以外の電源コードを使わない
本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となる恐れがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない
- 電源コードをはさまない
- 電源コードを折り曲げない
- 電源コードに薬品類をかけない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードの上にものを載せない
- 電源コードを束ねない
- 電源コードを改造・加工・修復しない
- 電源コードをステープラ等で固定しない
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください

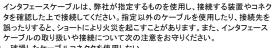
添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない
添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となる恐れがあります

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

指定以外の場所に設置・使用・保管しない
本装置を次に示すような場所に置かないでください。火災や故障の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。
- 直射日光が当たる場所。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない
腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、故障および火災の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

急激な温度変化環境で開梱または使用しない
本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開梱または使用してください。

電源コードを接続したまま本装置やインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
本装置およびインタフェースケーブルなどの取り付け／取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本装置内の部品やケーブルやコネクタに触れると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを接続しない
インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告

分解・修理・改造はしない
絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

リチウム電池の取り扱いに注意する
本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。
また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

電源プラグを差したまま取り扱わない
お手入れや、本装置の取り付け／取り外しは、本装置および接続機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふきとってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

警告

雷がなったら触らない
雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

ペットを近づけない
本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。

巻き込み注意
本装置の動作中は冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使用しない
本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店にご連絡ください。ラベルに貼られている内容をよく読んで警告事項を守ってください。

製品の譲渡と廃棄について

本体または本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

■ **第三者への譲渡について**
本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。

USB メモリ内のデータについて

重要
譲渡する装置内に搭載されて USB メモリに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。
オペレーティングシステムの「削除」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータは書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転送されるおそれがあります。
このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

■ **消耗品・本体装置の廃棄について**
本装置およびオプション製品などの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

リチウム電池の取り扱いに注意する
本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

付属品の確認

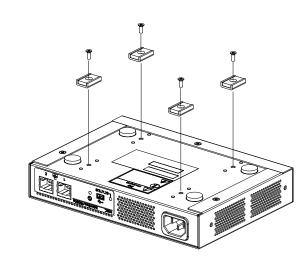
本装置の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているもがある場合は、販売店に連絡してください。

装置の輸送について

本装置には、リチウムメタル電池(ボタン型)を使用しています。
リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本装置の航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

標準添付の磁石の取り付け方

本製品標準添付の磁石をご使用になるときは、以下のように取り付けてください。
使用方法は推奨設置条件を参照してください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、弊社営業担当へご連絡ください。
(4) 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求に関しましては、(3)に関わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

NEC　InterSec / NQ30c

スタートアップガイド

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

Step1 添付品を確認する

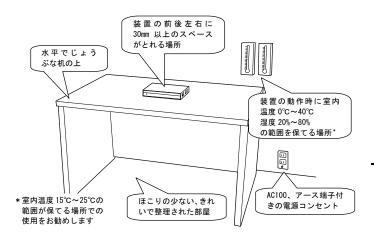
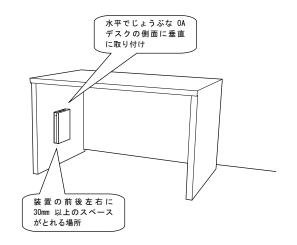
添付の構成品表を参照してください。

- 本体
- 保証書
  （本体梱包箱に貼付けられています）
- 電源コード(3m)
- スタートアップガイド
- 構成品表
- 磁石

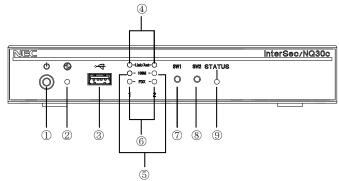
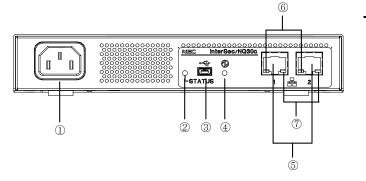
Step2 本体を設置する

本体の設置場所を決めます。
推奨設置条件

- 卓上設置イメージ

＊室内温度 15℃～25℃の範囲が保てる場所での使用をお勧めします

- 標準添付の磁石を実装時の設置イメージ

- 磁石を使用して高所に取り付けないでください。
- 振動や衝撃の多い場所、および不安定な場所には設置しないでください。
- OSデスクなどに磁石で装置を取り付けた状態で装置をずらさないでください。
- 磁石にフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけると、磁気の影響によりデータが消去されるおそれがあります。
- 磁石をパソコンやディスプレイなど磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけると故障の原因となるおそれがあります。
- OAデスクの天井板等、装置が逆さになるような取りつけはしないでください。
- OAデスクの側面に設置する際、コネクタ部が上下にくるような取りつけはしないでください。

Step3 製品機能

本装置の各部の名称を次に示します。

①電源スイッチ
　本装置の電源をON、またはOFFします。
②電源ランプ
　本体の電源がONの間、ランプが緑色に点灯しています。本体の電源がOFFの時、ランプは消灯します。
③USBコネクタ(Port1)
　USB2.0対応のインタフェースを持つデバイスを接続します。
④Link/Actランプ
　LANポートのアクセス状態を示します。本体とHUBに電源が供給されていて、かつ正常に接続されている間、緑色に点灯します。(Link)
　LANポートが送受信を行っているときに緑色に点滅します。(Act)
⑤速度ランプ
　100Base-Txで接続されているときは緑色に点灯します。10Base-Tで接続されているときは消灯します。
⑥Duplexランプ
　全二重で接続されているときは緑色に点灯します。半二重で接続されているときは消灯します。
⑦スイッチ1
　装置の初期化で使用します。
　詳細は「InterSec/NQ30 ユーザーズマニュアル」(Ver3.8以上)を参照ください。
⑧スイッチ2
　装置の初期化で使用します。
　詳細は「InterSec/NQ30 ユーザーズマニュアル」(Ver3.8以上)を参照ください。
⑨ステータスランプ
　装置の状態を示します。
　詳細は「InterSec/NQ30 ユーザーズマニュアル」(Ver3.8以上)を参照ください。

①電源コネクタ
　添付の電源コードを接続します。
②ステータスランプ
　装置の状態を示します。
　詳細は「InterSec/NQ30 ユーザーズマニュアル」(Ver3.8以上)を参照ください。
③USBコネクタ(Port2)
　未使用
④電源ランプ2
　本体の電源がONの間、ランプが緑色に点灯しています。本体の電源がOFFの時、ランプは消灯します。
⑤100BASE-Tx/10BASE-Tコネクタ
　LAN上のネットワークシステムと接続します。
　※Port2は「InfoCage 不正接続防止 Ver3.8」では未使用
⑥Link/Actランプ
　LANポートのアクセス状態を示すランプ。本体とHUBに電源が供給されていて、かつ正常に接続されている間、緑色に点灯します。(Link)。ネットワークポートが送受信を行っているときに緑色に点滅します。(Act)
⑦LANポートの伝送速度を示すランプ。橙色に点灯しているときは100BASE-Txで接続していることを示し、消灯しているときは10BASE-Tで接続していることを示します。

Step4 システムをセットアップする

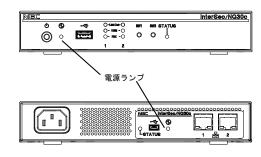
USBメモリで設定する場合

①「SecureVisor SiteManagerインストールマニュアル」を参照し、管理サーバにSerureVisor SiteManagerをインストールしてください。
②USBメモリに設定ファイル（以下の例を参考）をsvconfig.txt（すべて半角小文字）という名前で作成してください。アドレスなどのパラメータは適切に変更してください。エージェント名は、1～32文字の半角英数文字列を使用してください。

Password : Admin	←	認証パスワード（規定値）
AdminPassword : xxxxxx	←	認証パスワードの変更
AgentName : isnq30	←	エージェント名
DNSServer : 192.168.250.2 192.168.250.3	←	DNSサーバアドレス
DomainName : isnq.dom	←	DNSドメイン名
IpAddress : 192.168.250.250	←	エージェントのIPアドレス
NetworkMask : 255.255.255.0	←	ネットワークマスク
DefaultGateway : 192.168.250.1	←	デフォルトゲートウェイ
ManagerAddress : 192.168.250.249	←	サイトマネージャアドレス

●以下の5項目は必須パラメータです。

- Password
- AgentName
- Ipaddress
- NetworkMask
- ManagerAddress

③USBメモリをInterSec/NQ30cに差し込み、電源コードをコンセントに差し込み、電源ランプが緑色に点灯するのを確認してください。

④「SecureVisor SiteManagerインストールマニュアル」を参照し、SiteManagerのサイトコンソールなどから収集開始などの操作を行ってください。
⑤USBメモリを抜いてください。

設定に使用するUSBメモリはUSB2.0デバイスを使用してください。

TELNETで設定する場合

①「SecureVisor　SiteManagerインストールマニュアル」を参照し、管理サーバにSevureVisor SiteManagerをインストールしてください。
②InterSec/NQ30cの電源コードをコンセントに差し、電源ランプが緑色に点灯するのを確認してください。
③設定用のPCに、192.168.250.n（nは1～249の任意の値）のIPアドレスを設定し、InterSec/NQ30cと同じLANに接続してください。
④設定用のPCで[スタート]→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を起動し、以下の例を参考に必要なパラメータ設定を行ってください。
アドレスなどのパラメータは適切に変更してください。エージェント名は1～32文字の半角英数文字列を使用してください。

```
C:¥>telnet 192.168.250.250 23496
svna>pass admin
svna>set us admin xxxxxx                          ←  認証パスワードの変更
svna>set ns nameserver 10.1.2.6 10.1.2.7          ←  DNSサーバアドレス
svna>set if eth0 address 10.1.2.252 mask 255.255.255.0
                       ↑ IPアドレス       ↑ ネットワークマスク
svna>set gw 10.1.2.1                              ←  デフォルトゲートウェイ
svna>set na stop                                  ←  エージェントサービス停止
svna>set hn isnq30                                ←  エージェント名
svna>set sm 10.1.2.253                            ←  サイトマネージャアドレス
svna>set na reboot                                ←  マシン再起動
```

⑤「SecureVisor SiteManagerインストールマニュアル」を参照し、SiteManagerのサイトコンソールなどから収集開始などの操作を行ってください。
●SevureVisor SiteManagerに関しては、以下の情報サイトをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/cced/infocage/n_prevention/index.html

Tag-VLAN機能の設定方法につきましては、SecureVisor Version3.1以上のインストールCD-ROM内のマニュアルをご参照ください。

InterSec/NQ30cに関しては、以下の情報サイトをご覧ください。

http://support.express.nec.co.jp/pcserver/product.php?series=6

Step5 お客様登録をする

NECでは、製品ご購入のお客様に「NECビジネスPC／PCサーバお客様登録サービス」への登録をお勧めしております。

次のWebサイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを無料で受けることができます。

http://club.express.nec.co.jp/

また、Express5800シリーズをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

[ExpressPortal] **http://www.nec.co.jp/exp/**

以上でInterSec/NQ30cのセットアップは完了です。
ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。
InterSec/NQ30cを末永くご利用ください。

InterSec/NQ30cに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。（電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター　TEL.03-3455-5800（代表）

受付時間　/　9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日（祝祭日を除く）